

【基本指標番号】

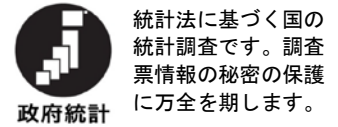
都道府県番	管番	理号	区分	経営体番号

入力方向 → → →

1	0	7	1
---	---	---	---

農業構造動態調査票(個人経営体)

令和3年2月1日現在



記入する前に、必ず「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
この調査票は、統計の作成目的以外には使用しませんので、ありのままをご記入ください。
なお、記入には黒色の鉛筆または、シャープペンシルで記入してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

★ 該当する場合は、下の記入例のようになぞってください。

記入例

8	8	8	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

つなげる すきまをあける

記入例

...	→	/
-----	---	---

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

調査票の確認をお願いします

調査票には前回の回答が印刷されているため、誤って配布しないよう、配布した調査票の確認に御協力をお願いします。
調査員が経営体番号とお名前を読み上げますので、間違いがないかご確認いただき、間違いなければ右の口にチェックをお願いします。

経営体番号

--	--	--	--	--	--

【1】経営体の概要

各種制度を利用するなど、農業経営の取組について該当するものすべてを記入してください。

	前年	本年
世帯員に認定農業者がいる	101	
世帯員に認定新規就農者がいる	102	
地域の集落営農組織に参加している	103	
そのうち、オペレータとして従事	104	

【2】土地

1 土地の状況を記入してください(土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、団体の所在地以外の他の市区町村にある土地を含みます。)

2 過去1年間に、販売目的で水稻を作付けした場合は、作付け面積を記入してください(けい畔は含めません。)

田・畑・樹園地		田		畑		樹園地	
		(ha)	(a)	(ha)	(a)	(ha)	(a)
		(町)	(反)	(町)	(反)	(町)	(反)
経営している	201	前年		211		221	
	本年	88888		88888		88888	
そのうち、所有している	202	前年		212		222	
	本年	88888		88888		88888	
そのうち、借りている	203	前年		213		223	
	本年	88888		88888		88888	
貸している	204	前年		214		224	
	本年	88888		88888		88888	

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
231	前年		
	本年	88888	

始めから販売を目的とせず、自給用に作付けした面積は含めないでください。

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

【3】世帯員

1 世帯員の人数を記入してください。

		男(人)		女(人)	
世帯員の数	301 前年				
	302 本年	88		88	
そのうち、満14歳以下の世帯員の数 (平成18年2月1日以降に生まれた方)	303 前年				
	304 本年	88		88	

2 満15歳以上の世帯員(平成18年1月31日以前に生まれた方)について記入してください。

- 過去1年間でいずれかの決定に参画した方に記入してください。
- 生産品目や飼養する畜種の選定・規模の決定
 - 出荷先の決定
 - 資金調達
 - 機械・施設などへの投資
 - 農地借入・農作業受託の決定
 - 雇用の決定・管理

3 世帯としての所得

世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。該当するものに必ず記入してください。

	前年	本年
自営農業による所得が多い		
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない)		

		①		②		③							
		世帯主との続柄		性別		出生の年月							
		続柄番号を記入		男	女	元号			出生の年月				
		大正	昭和	平成	年	月							
経営主	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員1	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員2	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員3	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員4	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員5	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員6	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	
世帯員7	前年												
	本年	88	88	/	/	/	/	/	88	88	88	88	

続柄番号

- | | |
|---------------|----------|
| 01:世帯主 | 07:兄弟姉妹 |
| 02:世帯主の配偶者 | 08:祖父母 |
| 03:子 | 09:孫 |
| 04:子の配偶者 | 10:孫の配偶者 |
| 05:世帯主の父母 | 11:その他 |
| 06:世帯主の配偶者の父母 | |

従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
 (例)
 ○1日4時間ずつ → 2日で1日分
 ○毎日1時間ずつ → 8日で1日分

○「新たに親の農業経営を継承した者」とは、過去1年間に、親の農業経営を継承して経営の責任者になった方をいいます。
 ○「親の農業経営とは別作物等を新たに開始した者」とは、過去1年間に、新たに親とは別の作物(品目)で農業経営(農業生産関連事業(「農作物の加工」、「観光農園」、「農家民宿」等の農業生産に関連した事業を含む。))を新たに開始し、その経営の責任者になった方をいいます。
 なお、新たに親の経営を継承し、かつ親の経営とは別の作物等を新たに開始した場合は、両方に記入してください。

入力方向

1 0 7 2

④ の経営方針決定に関わっている	⑤ 過去1年間のふだんの状況			⑥ 過去1年間で自営農業に従事した日数 (管理労働を含む) ※「自営農業」には、世帯として請け負った(受託した)農作業を含みます。								⑦ 過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数 (管理労働を含む)								⑧ 過去1年間に	
	仕事を主にしていた	主に学生(研修を含む)であった	主に家事・育児・その他であった	1	30	60	100	150	200	250	1	30	60	100	150	200	250	新たに親の農業経営を継承した者	新たに親の農業経営とは別作物等を開始した者		
該当する方すべてに	主に自営農業を行った	主に他に勤務した	主に農業以外の自営業を行った	従事しなかった	1	30	60	100	150	200	250	従事しなかった	1	30	60	100	150	200	250	継承し	開始した者
	必ず1つに			必ず1つに								必ず1つに								該当する方すべてに	

Input box with 10 empty cells

【4】雇用労働

1 常雇い

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために常雇いした人(あらかじめ7か月以上の契約で雇った人)すべてについて、記入してください。

		①		②					
		性別		出生の年月					
		いずれかに		該当する元号と出生の年月を記入してください。					
				元号			出生の年月		
		男	女	大正	昭和	平成	年	月	
1	前年								
	本年						8	8	8
2	前年								
	本年						8	8	8
3	前年								
	本年						8	8	8
4	前年								
	本年						8	8	8

世帯員は含めないでください。常雇いしている方全員を記入してください。ただため、5人以上の常雇いがいた場合は、補助票に記入してください。

2 臨時雇い

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営または農業生産関連事業のために臨時雇いした人(手伝いなどを含まず。)について、実人数を記入してください。

世帯員は含めないでください。

				農業	
				実人数 (人)	
				前年	本年
男	401			8	8
女	402			8	8

				農業生産関連事業	
				実人数 (人)	
				前年	本年
男	403			8	8
女	404			8	8

【5】農業経営の特徴的な取組

1 農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

		前年	本年
行っていない			
行っている	正規の簿記		
	簡易簿記		
	現金主義		

「現金主義」とは現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます(青色申告特別控除額:最高10万円)。

2 効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ(財務、市況、生産履歴、生育状況、気象状況、栽培管理などの情報)を活用していますか。

その際、どのようにデータを活用していますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

		前年	本年
データを取得して活用	511		
データを取得・記録して活用			
データを取得・分析して活用			
データを活用した農業を行っていない			

「データを取得して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを取得し、農業の経営に活用することをいいます。

「データを取得・記録して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて生産履歴などのデータを取得・記録(記録のみの場合を含む。)し、農業の経営に活用することをいいます。

「データを取得・分析して活用」とは、「データを取得して活用」や「データを取得・記録して活用」で把握したデータに加え、センサー、ドローンなどを用いてほ場環境や生育状況などのデータを取得し、専用のアプリなどで分析して農業の経営に活用することをいいます。

3 有機農業に取り組んでいますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

入力方向

1 0 7 3

		前年	本年
521	取り組んでいる		●●●●
	取り組んでいない		●●●●

自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない方でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。
 なお、販売を目的とせず自給用のみに作付けた(栽培した)場合は、含めません。

【6】農業生産関連事業

過去1年間に農業生産に関連した事業を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。

		前年	本年
行っていない		601	●●●●
行っている	農産物の加工	602	●●●●
	小売業	603	●●●●
	観光農園	604	●●●●
	貸農園・体験農園など	605	●●●●
	農家民宿	606	●●●●
	農家レストラン	607	●●●●
	海外への輸出	608	●●●●
	再生可能エネルギー発電	609	●●●●
	その他	610	●●●●



【7】農産物の販売

1 過去1年間の農産物の販売金額(売上高)について、該当するもの1つに**必ず**記入してください。

2 過去1年間の販売金額が上位3位までの該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

		701	
		前年	本年
販売なし			●●●●
農産物の販売あり	50万円未満		●●●●
	50～100万円未満		●●●●
	100～300万円未満		●●●●
	300～500万円未満		●●●●
	500～1,000万円未満		●●●●
	1,000～3,000万円未満		●●●●
	3,000～5,000万円未満		●●●●
	5,000万～1億円未満		●●●●
	1億～2億円未満		●●●●
	2億～3億円未満		●●●●
3億～5億円未満		●●●●	
5億円以上		●●●●	

部門コード

- 01: 水稻・陸稻
- 02: 麦類
- 03: 雑穀・いも類・豆類
- 04: 工芸農作物
- 05: 露地野菜
- 06: 施設野菜
- 07: 果樹類
- 08: 花き・花木
- 09: その他の作物
- 10: 酪農
- 11: 肉用牛
- 12: 養豚
- 13: 養鶏
- 14: 養蚕
- 15: その他の畜産

		部門コード		割
1位	前年	711		
	本年	8888	8888	
2位	前年	713		
	本年	8888	8888	
3位	前年	715		
	本年	8888	8888	

経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。
 きのこの栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

販売金額には、売上金額を記入してください(肥料代、農薬代などの経費を引かない。)

3 過去1年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、そのうち、売上1位の出荷先を記入してください。

「消費者に直接販売」には自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。
 「その他の農産物直売所」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

		出荷先		731		
		前年	本年	前年	本年	
該当するすべての消費者に直接販売	農協へ	721				
	農協以外の集出荷団体へ	722				
	卸売市場へ	723				
	小売業者へ	724				
	食品製造業・外食産業へ	725				
	消費者に直接販売	自営の農産物直売所で	726			
		その他の農産物直売所で	727			
		インターネットで	728			
		他の方法で(無人販売など)	729			
	その他へ	730				
				うち売上1位の出荷先(1つに)		

【8】農作業の受託(請負)

1 過去1年間の農作業の受託(請負)による料金収入について、該当するもの1つに必ず記入してください。

		801	
		前年	本年
受託料金収入なし			
農作業の受託料金収入あり	50万円未満		
	50～100万円未満		
	100～300万円未満		
	300～500万円未満		
	500～1,000万円未満		
	1,000～3,000万円未満		
	3,000～5,000万円未満		
	5,000万～1億円未満		
1億～2億円未満			
2億～3億円未満			
3億～5億円未満			
5億円以上			

2 水稲作業で、過去1年間によそから受託した(請け負った)作業すべてに記入してください。

		前年	本年
作業ごとに受託	育苗	811	
	耕起・代かき	812	
	田植	813	
	防除	814	
	稲刈り・脱穀	815	
	乾燥・調製	816	
すべての水稲作業を一括して受託		817	

3 水稲以外で、過去1年間によそから受託した(請け負った)農作業すべてに記入してください。

		前年	本年
該当するすべての	麦作	821	
	大豆作	822	
	野菜作	823	
	果樹作	824	
	飼料用作作物	825	
	工芸農作物作	826	
	その他の作物作	827	
	畜産	828	
	酪農ヘルパー	829	

連絡先

調査員氏名
 電話番号

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

【基本指標番号】									
都道府県番	管番	理号	区分	経営体番号					



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業構造動態調査票(団体調査票)

令和3年2月1日現在

記入する前に、必ず「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
この調査票は、統計の作成目的以外には使用しませんので、ありのままをご記入ください。
なお、記入には**黒色の鉛筆**または、**シャープペンシル**で記入してください。

《記入上の注意》

- ★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。
- ★ 該当する場合は、下の記入例のようになぞって記入してください。

記入例

8	8	8	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

つなげる すきまをあける

記入例

11	2	3
----	---	---

【1】経営体の概要

- 1 経営は会社などの法人化をしていますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。
- 2 各種制度を利用するなど、農業経営の取組について該当するものすべてを記入してください。

		前年	本年			前年	本年	
法人である	法人でない			認定農業者であるか、組織内に認定農業者がいる	111			
	農事組合法人				認定新規就農者である	112		
	株式会社							
	合名・合資会社							
	合同会社	101						
	相互会社							
	各種団体							
農協								
その他の各種団体								
	その他の法人							

特例有限会社は株式会社に該当します。

【2】土地

- 1 土地の状況を記入してください(土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、団体の所在地以外の他の市区町村にある土地を含みます。)
- 2 過去1年間に、販売目的で水稲を作付けた場合は、作付け面積を記入してください(けい畔は含めません。)

田・畑・樹園地

		田		畑		樹園地	
		(ha) (町)	(a) (反)(畝)	(ha) (町)	(a) (反)(畝)	(ha) (町)	(a) (反)(畝)
経営している	201						
	前年						
そのうち、所有している	202						
	前年						
そのうち、借りている	203						
	前年						
貸している	204						
	前年						

	前年	本年
231		

始めから販売を目的とせず、自給用に作付けた面積は含めないでください。

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

2 臨時雇い

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営または農業生産関連事業のために臨時雇いした人（手伝いなどを含みます。）について、実人数を記入してください。

経営主・役員などは含めないでください。

		農業	
		実人数 (人)	
		前年	本年
男	401		888
女	402		888

		農業生産関連事業	
		実人数 (人)	
		前年	本年
男	403		888
女	404		888

【5】農業経営の特徴的な取組

- 1 農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

			前年	本年
行っていない		501		888
行っている	正規の簿記			888
	簡易簿記			888
	現金主義			888

「正規の簿記」とは損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高65万円））。
 「簡易簿記」とは「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高10万円）をいいます。
 「現金主義」とは現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高10万円）。
 経営を法人化し青色申告を行っている場合は「正規の簿記」に記入してください。

- 2 効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ(財務、市況、生産履歴、生育状況、気象状況、栽培管理などの情報)を活用していますか。
 その際、どのようにデータを活用していますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

			前年	本年
データを取得して活用		511		888
データを取得・記録して活用				888
データを取得・分析して活用				888
データを活用した農業を行っていない				888

「データを取得して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを取得し、農業の経営に活用することをいいます。
 「データを取得・記録して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて生産履歴などのデータを取得・記録(記録のみの場合を含む)し、農業の経営に活用することをいいます。
 「データを取得・分析して活用」とは、「データを取得して活用」や「データを取得・記録して活用」で把握したデータに加え、センサー、ドローンなどを用いてほ場環境や生育状況などのデータを取得し、専用のアプリなどで分析して農業の経営に活用することをいいます。

- 3 有機農業に取り組んでいますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

		前年	本年
取り組んでいる	591		888
取り組んでいない			888

自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない方でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。
 なお、販売を目的とせず自給用のみに作付けた(栽培した)場合は、含めません。

【6】農業生産関連事業

過去1年間に農業生産に関連した事業を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。

			前年	本年
行っていない		601		888
行っている	農産物の加工	602		888
	小売業	603		888
	観光農園	604		888
	貸農園・体験農園など	605		888
	農家民宿	606		888
	農家レストラン	607		888
	海外への輸出	608		888
	再生可能エネルギー発電	609		888
	その他	610		888

【 7 】 農産物の販売

- 過去1年間の農産物の販売金額(売上高)について、該当するもの1つに必ず記入してください。
- 過去1年間の販売金額が上位3位までの該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

販売金額には、売上金額を記入してください
(肥料代、農薬代などの経費を引かない。)

		701	
		前年	本年
販売なし			
農産物の販売あり	50万円未満		
	50～100万円未満		
	100～300万円未満		
	300～500万円未満		
	500～1,000万円未満		
	1,000～3,000万円未満		
	3,000～5,000万円未満		
	5,000万～1億円未満		
	1億～2億円未満		
	2億～3億円未満		
3億～5億円未満			
5億円以上			

部門コード

- 01:水稲・陸稲
- 02:麦類
- 03:雑穀・いも類・豆類
- 04:工芸農作物
- 05:露地野菜
- 06:施設野菜
- 07:果樹類
- 08:花き・花木
- 09:その他の作物
- 10:酪農
- 11:肉用牛
- 12:養豚
- 13:養鶏
- 14:養蚕
- 15:その他の畜産

		部門コード		割
		前年	本年	
1位	前年	711		
	本年	8888		
2位	前年	713		
	本年	8888		
3位	前年	715		
	本年	8888		

経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。この栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

- 過去1年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、そのうち、売上1位の出荷先を記入してください。

		出荷先		731	
		前年	本年	前年	本年
該当するすべての出荷先に記入し、うち売上1位の出荷先(1つ)に	農協へ	721			
	農協以外の集出荷団体へ	722			
	卸売市場へ	723			
	小売業者へ	724			
	食品製造業・外食産業へ	725			
	消費者的に販売する				
	自営の農産物直売所で	726			
	その他の農産物直売所で	727			
	インターネットで	728			
	他の方法で(無人販売など)	729			
その他へ	730				

「消費者に直接販売」には自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。「その他の農産物直売所」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

【 8 】 農作業の受託(請負)

- 過去1年間の農作業の受託(請負)による料金収入について、該当するもの1つに必ず記入してください。
- 水稲作業で、過去1年間によそから受託した(請け負った)作業すべてに記入してください。
- 水稲以外で、過去1年間によそから受託した(請け負った)農作業すべてに記入してください。

		801	
		前年	本年
受託料金収入なし			
農作業の受託料金収入あり	50万円未満		
	50～100万円未満		
	100～300万円未満		
	300～500万円未満		
	500～1,000万円未満		
	1,000～3,000万円未満		
	3,000～5,000万円未満		
	5,000万～1億円未満		
	1億～2億円未満		
	2億～3億円未満		
3億～5億円未満			
5億円以上			

		前年	本年
作業ごとに受託	育苗	811	
	耕起・代かき	812	
	田植	813	
	防除	814	
	稲刈り・脱穀	815	
	乾燥・調製	816	
	すべての水稲作業を一括して受託	817	

		前年	本年
該当するすべての	麦作	821	
	大豆作	822	
	野菜作	823	
	果樹作	824	
	飼料用作作物作	825	
	工芸農作物作	826	
	その他の作物作	827	
	畜産	828	
	酪農ヘルパー	829	

連絡先

地域拠点の名称

電話番号

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。